

受付番号

2022-13

許可番号

大歯医倫 第 111222-0 号

研究課題名

大阪歯科大学附属病院における術後嘔声の発生率とカフ圧の影響に関する調査

研究責任者

内田 琢也

申請者

内田 琢也

研究終了日

2023 年 3 月 31 日

所属

歯科麻酔学講座

所属

歯科麻酔学講座

職名

講師

職名

講師

申請の概要

術後の嘔声や声帯麻痺は、挿管操作、気管チューブによる損傷やカフの圧迫によって発生することが多く、これまでも複数の報告がある。そこで大阪歯科大学附属病院にて過去3年間に施行した全身麻酔症例の麻酔記録を基に挿管方法、挿管者、カフ容量、手術内容、麻酔時間などを後ろ向きに調査する。加えて新たに挿管時のカフ圧および容量決定を2種類のカフ圧計を用いることによってカフの容量だけでなくカフ圧を設定、記録する。過去のデータと合わせ評価することによって適正なカフ圧を見出し、カフの圧迫が気道および周囲の神経に与える影響を明らかにすることができれば、術後の嘔声や声帯麻痺発生を予防することができるものと期待される。